

とつきび

No. 58

発行／最上ふれあい学園
編集／最上ふれあい学園広報編集委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467
TEL 0233-45-2236(代)・FAX 0233-45-2011
HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>
Eメールアドレス：mogamifg@vega.ne.jp



雪まつりお柴灯

目次

- P 2～3 平成20年度 福祉サービス 第三者評価
- P 4～5 フォトギャラリー
- P 3 慰問・ボランティア・寄贈・新利用者紹介・新採職員紹介・行事予定
公益信託佐鳥福祉基金助成事業完了・編集後記

第三者評価 (財団法人日本チャリティ協会)

～ 調査の概要と評価講評について ～

調査概要

○ 調査対象：利用者の総数81名のうち入院1名を除き、アンケート調査6名、聞き取り調査30名、残りの利用者44名を場面観察に分けて調査を実施しました。

○ 調査方法：アンケート聞き取り方式

○ アンケート調査は、一室で6名全員に設問項目を読み上げながら記入についての支援をおこないました。聞き取り調査については、それぞれの生活棟で個別に実施いたしました。場面観察は居室、廊下、体育館、作業所等で利用者と、職員の間わりあいの様子を観察しました。

○ 利用者総数：81人

○ 共通評価項目による調査対象者数：36人へアンケート方式6人、聞き取り方式30人

○ 共通評価項目による調査の有効回答者数：36人へアンケート方式6人、聞き取り方式30人

○ ケート方式6人、聞き取り方式30人

○ 利用者総数に対する回答者割合(%)：44・4%

調査結果全体のコメント

コメント

利用者は全体として、学園に対して安心感と満足感を抱いており、「大変満足」「満足」が両方で73・5%を示しています。サービスの「食事の時間がたのしみになってくるか」は、特に高く94・1%が楽しいと答えています。日常生活、活動についても85%と高くなっています。利用者個人に対する職員の対応では、70%が肯定的に受け止めています。個人別目標についての職員の説明については、「説明があった」(75・6%)、「分かり易かった」(73・1%)と回答しています。

職員は利用者の要望を根気よく、丁寧に傾聴し、親切に対応している様子(76・5%)がうかがえます。ただ、第三者委員との相談について「知っている」との答えは23・5%

に止まっています。利用者は学園内で比較的自由な生活を楽しみ、作業所では自分の仕事に熱心に取り組んでおり、職員が温かく話しかけたり援助したり、利用者が大事にされ安らいでいる様子が感じ取れました。

全体の評価講評

特に良いと思う点

● 新規事業の立ち上げで経営効率の向上が達成されました。

経営層のリーダーシップにより、新規事業の立ち上げが実現しました。新事業体系への足掛かりとして、自立訓練棟が新たに完成、利用を開始し、近隣の地域密着型小規模多機能型居宅介護施設について法人が管理業務を町から委託され、更に、日中一時支援事業を制度化することができました。これからは、長期計画に基づく事業の拡大であり、当学園の経営基盤の強化に寄与しています。職員を殆ど増員せずに、対応でき、人件費支

出を抑制、効率的に活用し、特に日中一時支援活動では、新たな収入増となり、財政面での効果をもたらす結果となっております。

● 職員の能力向上と一丸となった組織力の発揮。

毎朝申し送りを行う。理念方針を周知徹底し、重要事項について報・連・相を行っています。多様な研修の結果、職員の自覚と責任感が強まり、チームワークが堅まりました。利用者への配慮が充実し、床上げ時の異臭防除、トイレ清掃、オムツ交換等環境改善が進みました。保護者、地域との良好な関係も良好で、職員個々のレベルアップが図られました。収穫祭の成功にも見られるように、組織全体として情報の共有化、目指す目的の明確化が進展し、組織の一体感が深まり、利用者は学園生活を楽しみ、保護者も安心して、当学園を信頼し協力しています。

福祉サー

●利用者サービスのレベルアップ。

利用者の処遇状況は全てパソコンで管理され、各種情報の共有化が可能となる、マニュアルの整備も充実しました。その結果、利用者に向き合う姿勢も、例えば利用者に対して、「さん」付けを徹底するなど変わってきました。利用者個人の個別状況に応じた計画と記録がなされ、個別支援が行き渡ってきました。食事メニューには新メニュー、豊富なメニューが工夫され、またグループ食事も定着し利用者の楽しみとなっています。利用者の突然の体調変化に際しては、迅速に職員間で情報を共有され、ヒヤリ・ハット情報に対して分析・対応がなされています。

さらなる改善が望まれる点

●高齢化・重度化への計画的取り組みについて

年々利用者の高齢化に伴い、重度化も進行し、車椅子利用者が増加しています。職員側

では現状の取り組みが、対応がなかなか難しく、苦慮の様子が窺えます。今後予想される処遇の難しさ、支援の困難さに対する不安が感じられ、将来的なビジョンの明確化、対応策への検討が求められています。例えば、車椅子利用者の入浴介助については、利用者自身も職員もいささかきつい状況であり、大規模修繕補助制度等を活用して浴室の改造等ハード面での改造も必要になると考えられます。

★ 人事課題への対応について

利用者へのサービス対応、各種の研修、頻繁な会議等、多忙さが増す中で、職員の間には特に待遇面において将来への不安・不満が感じられます。厳しい経営環境において職員側のさまざまな要求に全て応じることは難しく、その中で臨時職員の待遇に関して一部改善された事例も職員から寄せられており、経営努力の一端が表れています。なお、現在人事考課制度について、園長自ら立案・検討中であり、新年度からの実施を目指して

います。これにより、職員側の不満の解消、やる気向上が期待されます。

★ 更なる組織力の強化と将来への課題

当学園の組織としての強さ、利用者サービス面での実行力は評価すべき水準に達していると考えられます。地域との連携、保護者との一体感にも見るべきものがあります。一方、自立支援対策、利用者サイドに於ける高齢化・重度化の中での支援の難しさ等、経営面・運営面において困難さが増しています。現状では、利用者・保護者・職員・地域等施設の内外面において、関係者と良好な関係を構築してはいますが、今後ともこれらの諸課題に取り組み、施設の存続、利用者のサービス向上への努力を続けられることを期待します。

評価を終えて

ふれあい学園では平成十八年度より第三者評価を受審しており、今回で三回目の受審と

なりました。福祉サービス第三者評価の目的は、一つは情報公開、もう一つはサービスの質の向上です。調査は経営者層、一般職員層、利用者調査、場面観察など、様々な方法で実施され通常監査よりもきめ細かく調査されます。評価結果は書面やインターネットを通じて情報公開されます。評価については全体的な評価の他、項目ごとに「A、B、C」で評価され特に優れている取り組みに関してはA+の評価点となります。評価の結果には良い点、改善すべき点などがありますが、課題を明確にして改善を図ることでサービスの質の向上につなげていきたいと思っております。今年度の評価結果につきまして「オールA」という大変素晴らしい評価を頂きました。福祉サービスは点数で評価されない仕事なのでこの度の結果は職員にとって大きな励みとなりました。

今後共、継続的に受審し魅力ある施設となるよう努めて行きたい。



12/5 ^{いっほいっほ}一歩²フェスタ
^{あした}みんなで“明日があるさ”を合唱 ^{がっしょう}

フォト キャラリー

10/25 ^{しょうない} ^{もがみ} ^{ちく}
 庄内・最上地区わいわいパーティー



10/28 ^{かいものしえん}買物支援
^{もの} “ほしかった物が買えて、^{だいまんぞく}大満足！”



11/26 ^{こうばいそう} ^{わなげ} ^{こうりゅうかい}
 紅梅荘にて輪投げ交流会
^{ゆうしょう}優勝めざしてソーレ！！

“よい”
 1/2
 “なりますように”
 しんねんかい
 新年会



2/9 ^{さぎょういろukai}作業慰労会
^{しんじょうたまひめてん}新庄玉姫殿にてバイキング、^{ぎんちよう}ちよっぴり緊張……





とうじつ 当日はあいにくの吹雪！
ふぶき

まは 晴れ間をぬって
サーすべれー！！



おたが 相互の健康を
きがん 祈願して



とう てんか
あさい灯 点火

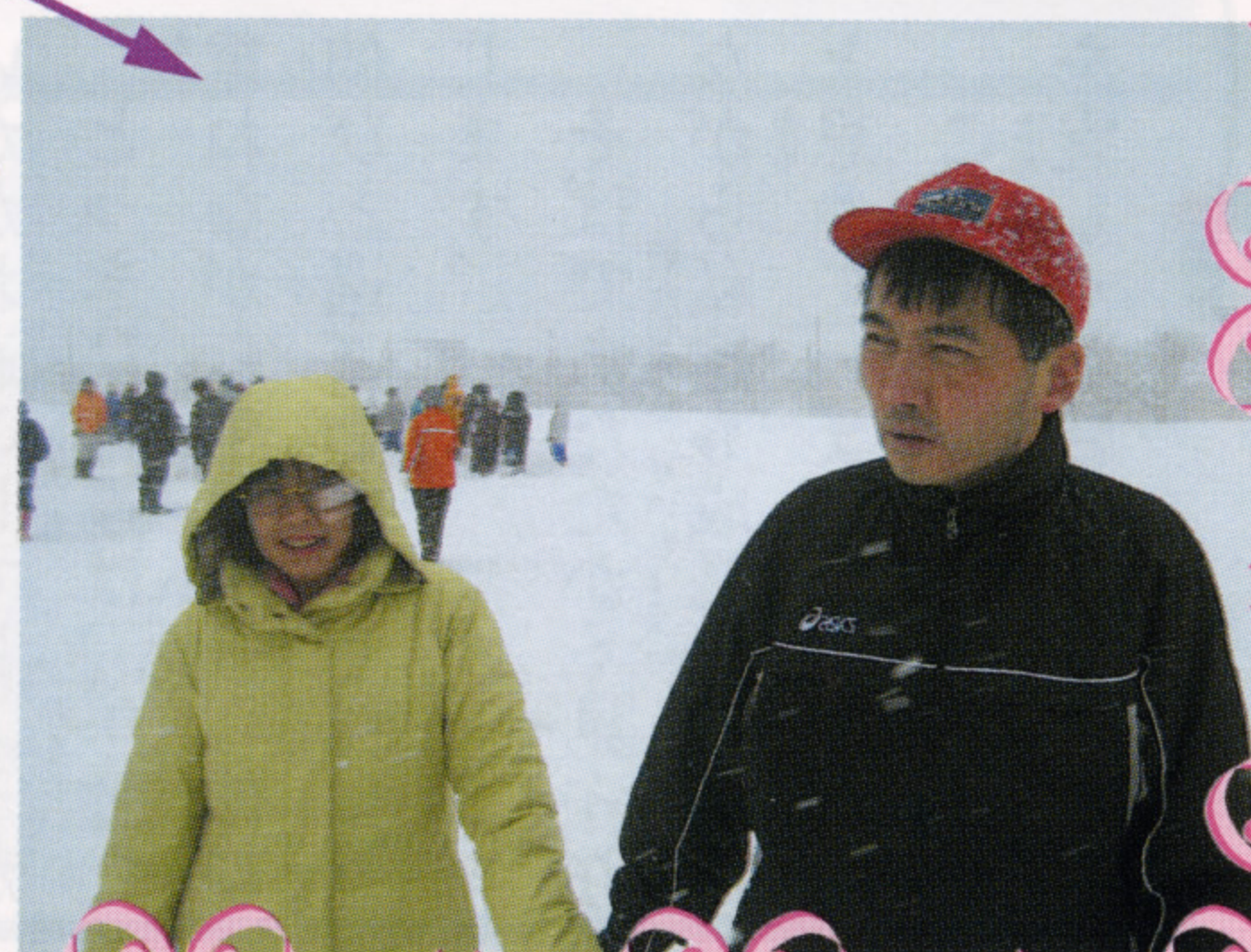
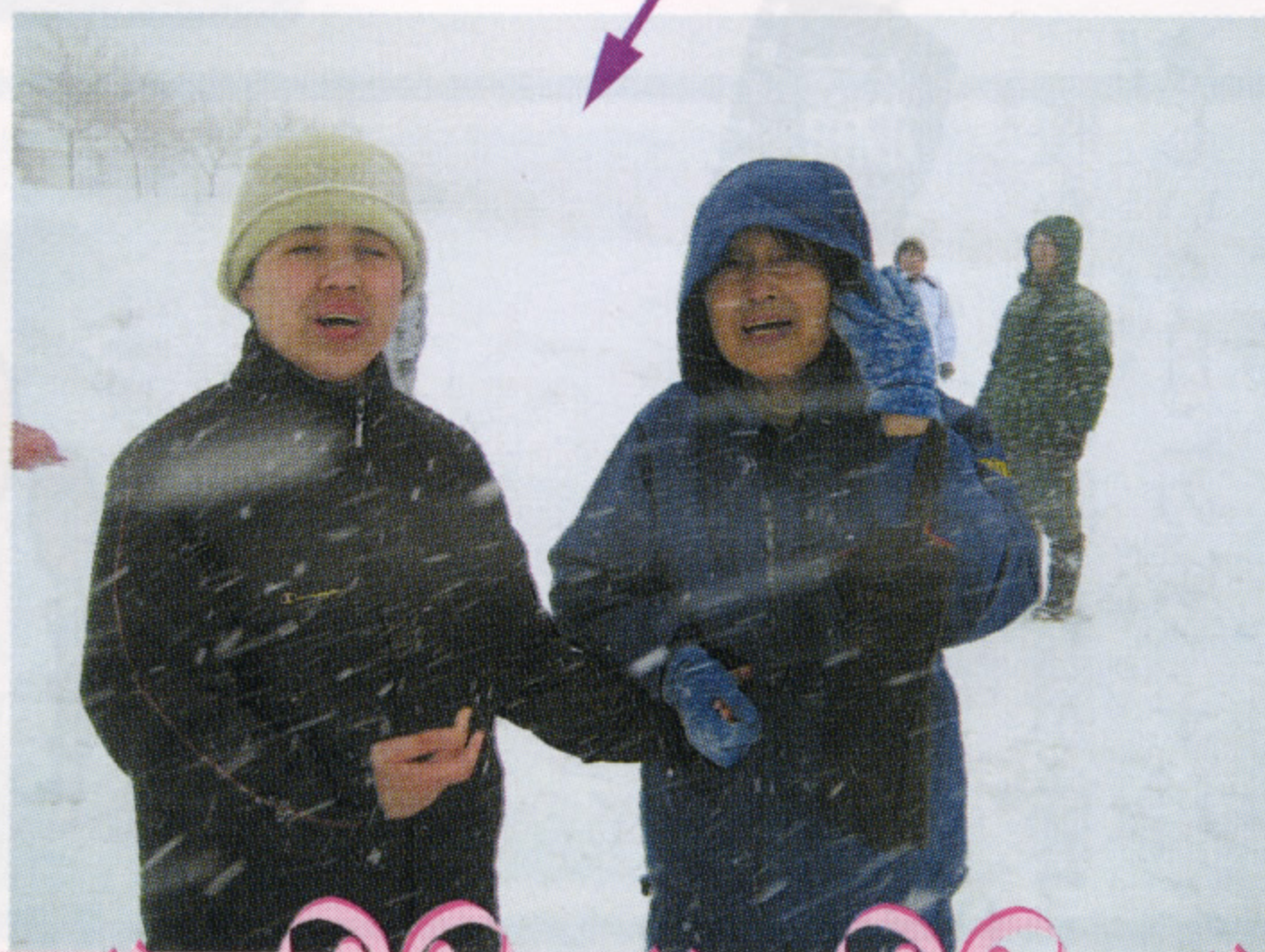
おやこ
ちょっと親子で！



さむ〜い！ 少しあったまって

「ふれあい
コーナー」

えがおたいしょう
笑顔大賞は？





臨時調理員 渡辺 洋子

一月から厨房で働くことになりました。調理業務の事は初めてなので、皆さんから教えて頂きながら早く一人前に仕事が出来る様に頑張りたいです。よろしくお願ひします。



このたび公益信託佐鳥福祉基金から平成20年度助成金の交付を受け、昨年12月25日に納車していただきました。利用者の支援活動等に活用させていただきます。

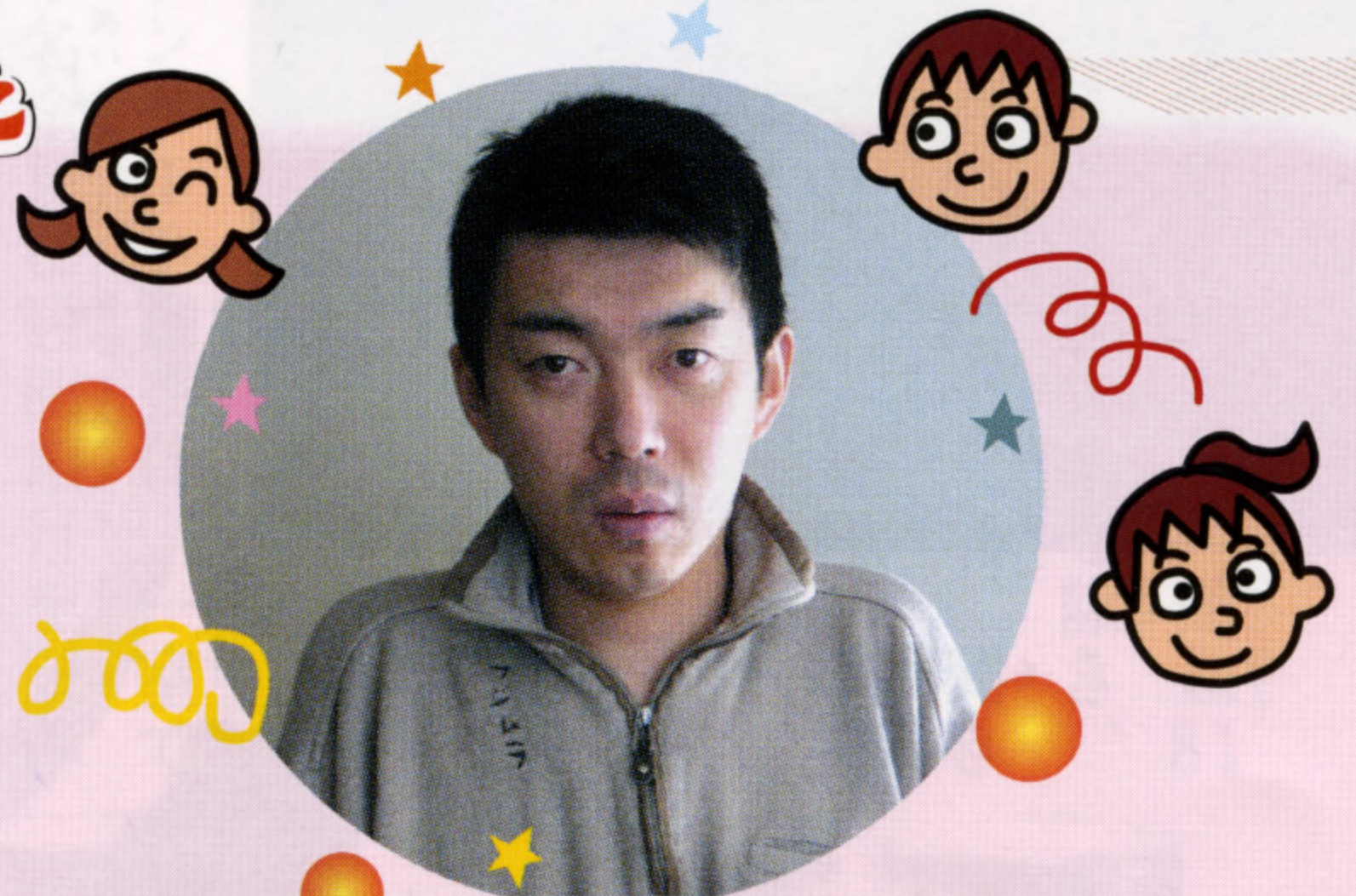
ありがとうございました。

新しいメンバーがかわりました

*名前 藤村 貴広さん 11月28日 入所
*出身地 東京都足立区

コメント

これから学園生活に慣れて、皆さんと一緒に楽しく生活して行きたいと思ひます。よろしくお願ひします。



さようなら 菱山 さん

菱山 弘さんが去る2月20日68歳で、永眠されました。学園での20年間の生活や心優しかった弘さんの思い出はいつまでも私達の心にいます。

さようなら、菱山さん
安らかにお休み下さい。

慰問

- 11/27 新庄・最上民謡サークル (すみれ会5名) 踊り 22名様
- 12/21 マックスバリユ最上店 プレゼント贈呈等5名様 6号ケーキ 15個
- 12/25 なかよし会 6名様
- 2/3 新庄北高最上校 ハンドベル演奏 6名様

寄贈

- *株ヨコタ東北様より 第19回ふれあい雪祭り協賛 食品トレイ 500個
- *中村 仁様より りんご 15kg
- *新庄・最上民謡サークル様より フェイスタオル 180枚
- *大石田 すみれ会様より フェイスタオル 28枚
- *田坂 勝芳様より フェイスタオル 45枚
- *田中 和子様より 布巾 3枚
- *ふれあい雪まつり 新庄神室産業高校生 1名様



ボランティア

編集後記

暖かい春の陽ざしが待ち遠しい今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。とつきび君達は、年齢を重ねながら生き生き、伸び伸びと過ごしている様に感じます。そばであたたかく見守りながら私達も成長出来ればと思ひています。これからも「とつきび」を宜しくお願いします。

行事予定

- 4月 観桜会
- 6月 スポーツフェスタ